

狂言なかば高ぬわムリ升れど是よりちよと口上ヲ以奉申上升ル切当六月

廿七日祖父松本錦江之三十三回忌ニ当リ升れは父幸四郎追善狂言

仕度義旦私ニモ益狂言にわ一度致候相約速致居候処斗当六月

父幸四郎病死仕ましてムリ升ル誠にはやとわく仕居ました

名去存ぜつこの砌より追善狂言致度義心頼にムリ升れば弟ト高

麗蔵もろとも相勤且は大江戸八百八町御ひみき御連中様方に

王御回向御願の為ト存ましたる処遺命によりまして白骨

持參致シ高野山江出立致シまして今以満府仕ませず如

何致シましたる者にと存居ましたる処御ひみき様ヨリ当

役ヲ追善ニ仕まする様御差函に隨權八の役ヲ杜若丈江

相勤ましたる処早速承知は致しくれましたれども

あまり權八お時の役は度々仕古めかしく事にわ御見

物様方の御志かりのほども恐入まする様申されま

す間能は兩人とも当役ヲ一世一代ト仕升れば御し

かりのほども無之様ト存まする事にわ父幸四

郎長兵衛の役は数年致きたりましたれば

此後弟ト高麗蔵に相ゆずり御ひみき様御ひき立ヲ以

まして行ノ幸四郎名前も相つがせつまする弟トめにムリ

ますれば御ひみきのほど偏に希奉願上升ル先は弟二番目ヲ追善狂言ト仕

ましてムりまする何卒御ひみき御連中様方松本幸四郎たゞノ一への御回向

奉願上まする且は当役御名残りの口上角から角までばらりと奉願上升ル